

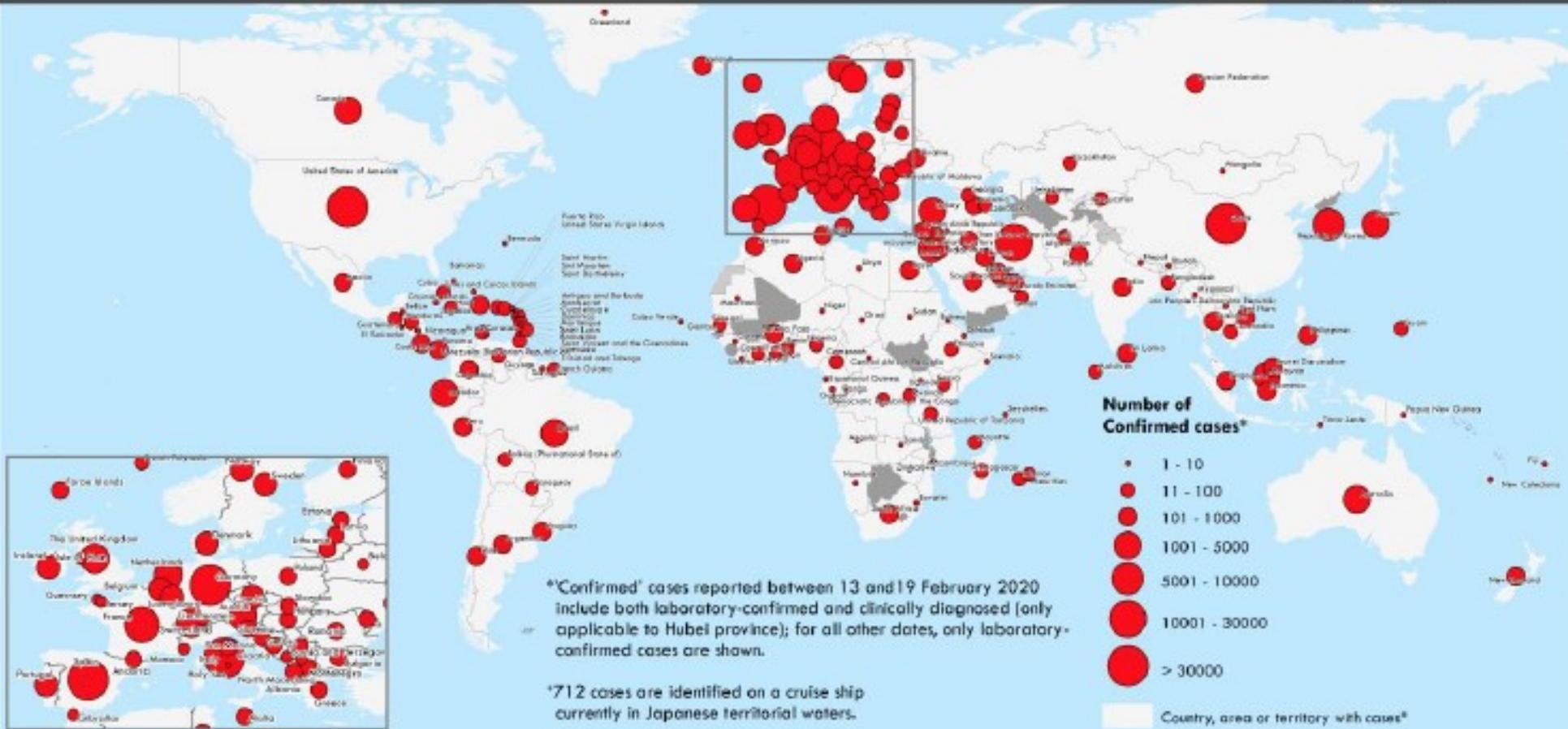
COVID-19
積極的疫学調査実施要領(暫定版)
と蔓延防止

大東文化大学

中島一敏

COVID-19発生状況、2020年3月25日現在

Distribution of COVID-19 cases as of 25 March 2020, 10:00 (CET)



SITUATION IN NUMBERS total (new) cases in last 24 hours

Globally

414 179 confirmed (40 712)
18 440 deaths (2202)

Western Pacific Region

97 766 confirmed (1186)
3518 deaths (16)

European Region

220 516 confirmed (25 007)
11 986 deaths (1797)

South-East Asia Region

2344 confirmed (354)
72 deaths (7)

Eastern Mediterranean Region

29 631 confirmed (2416)
2008 deaths (131)

Region of the Americas

60 834 confirmed (11 390)
813 deaths (248)

African Region

1664 confirmed (359)
29 deaths (3)

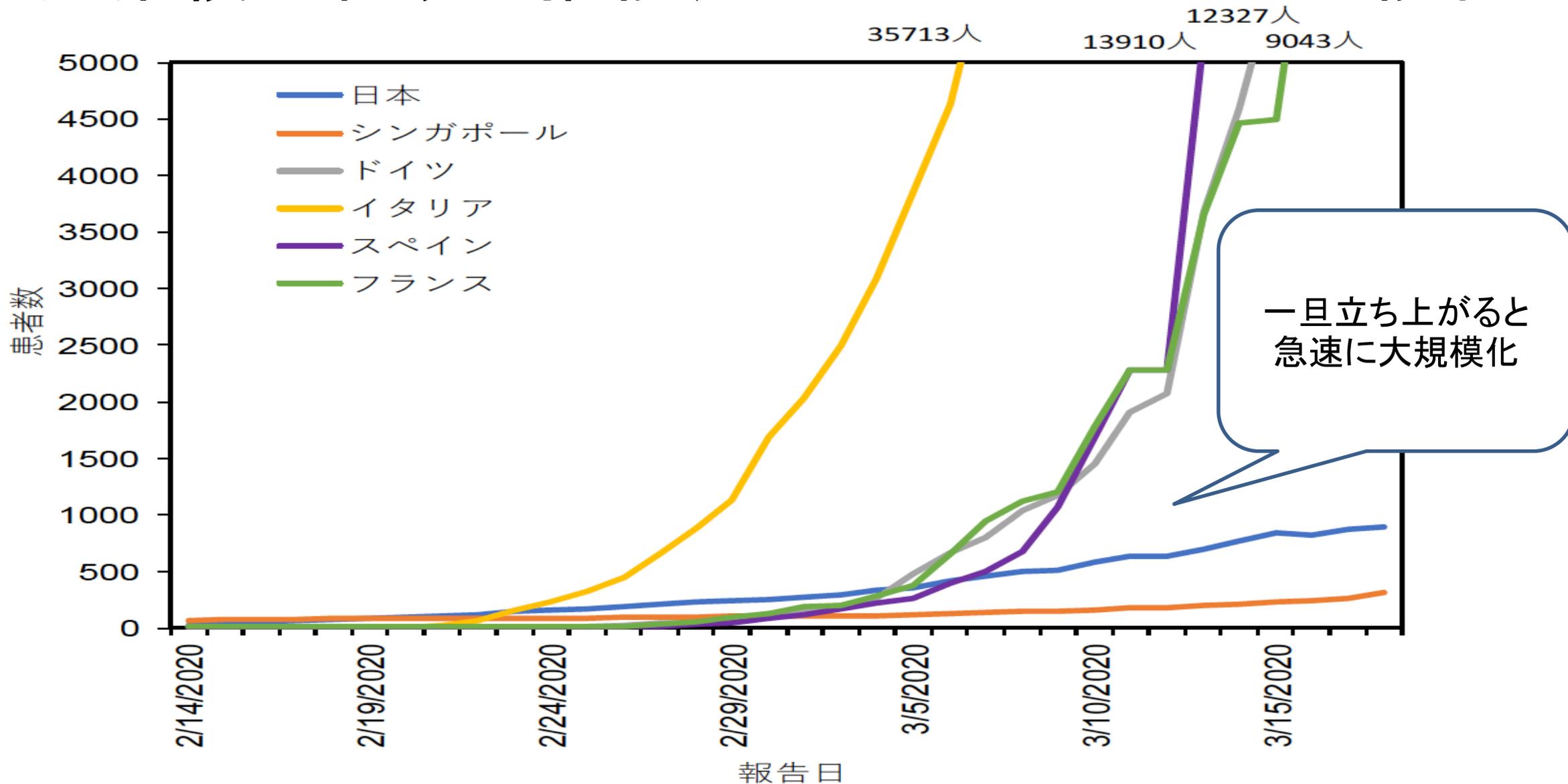
Data Source: World Health Organization
Map Produced: WHO Health Emergency Programme

Not applicable

0 2,500 5,000 km
© World Health Organization 2020. All rights reserved.

The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted and dashed lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

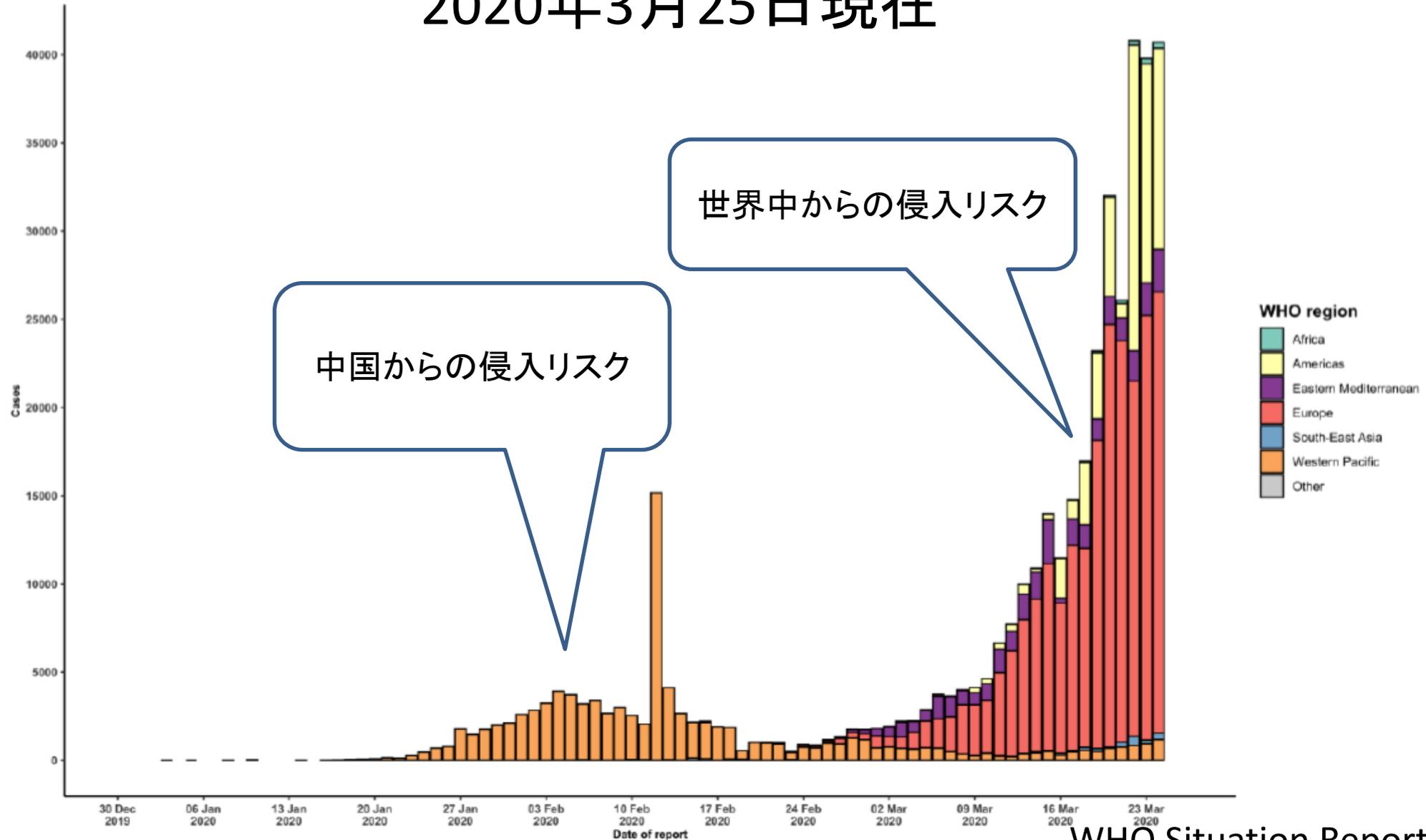
国別累積患者数の推移、オーバーシュートの危険性



新型コロナウイルス感染症対策専門家会議.
「新型コロナウイルス感染症対策の現況分析・提言」(2020.3.19)

グローバルなCOVID-19流行曲線

2020年3月25日現在



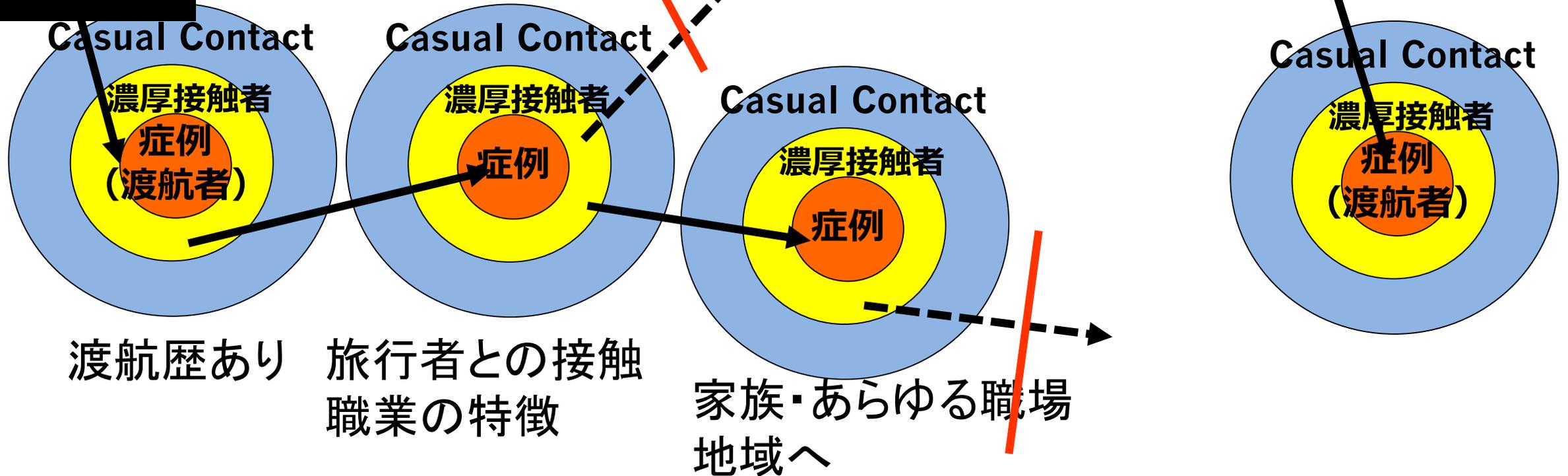
海外からの輸入と国内伝播： 輸入対策と行動変容による蔓延防止



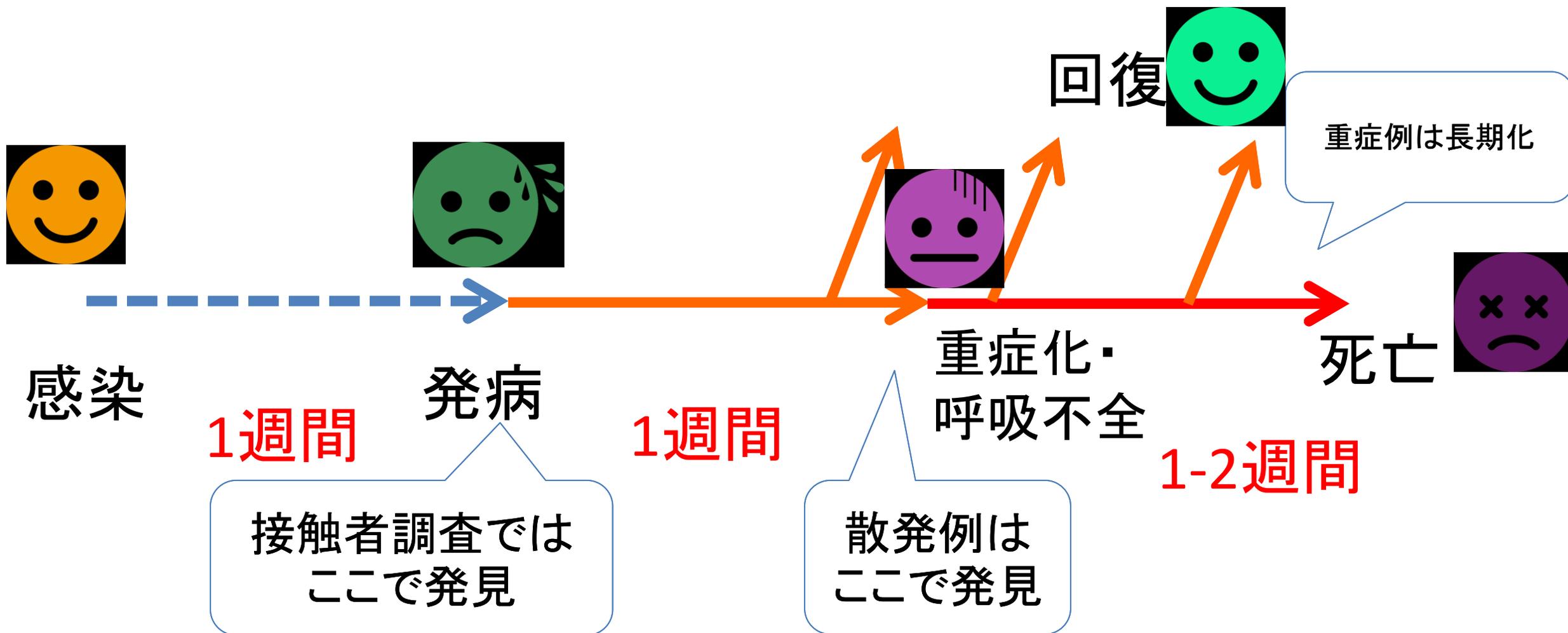
波
から

感染伝播
の遮断

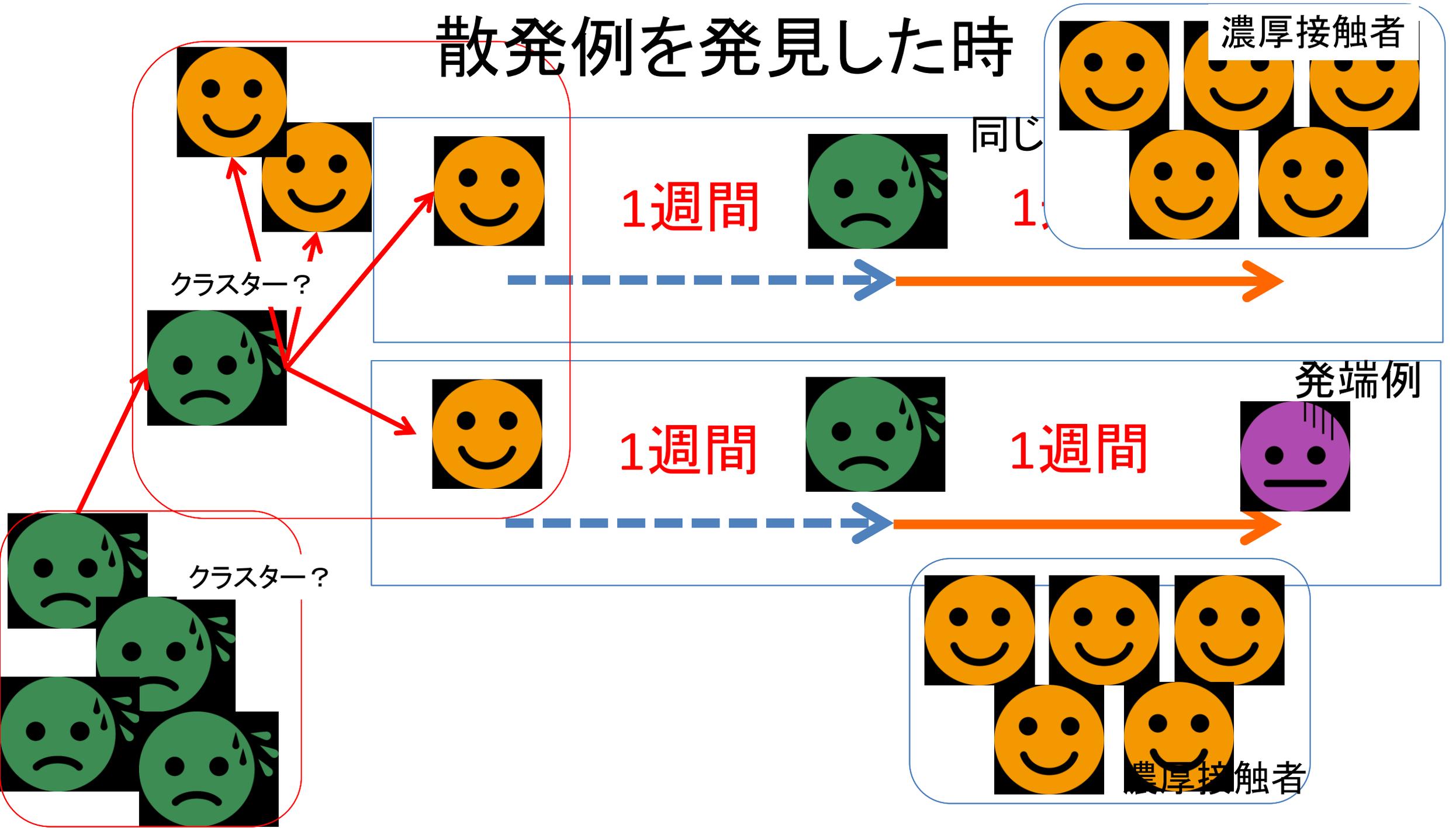
第二波
世界中から



トレンドを見るときの注意：1週間単位で考える

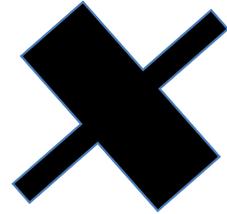


散发例を発見した時



リスク評価

蔓延の
可能性
(感染性)



インパクト
(重症度)

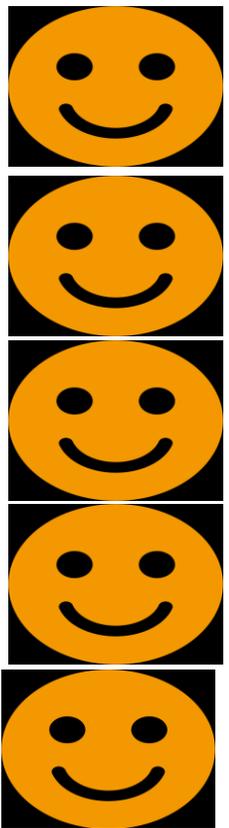
重症度

- 80%は軽症、自然回復
 - 15%は重症（呼吸苦あり、酸素補助必要）
 - 5%は重篤（人工呼吸器管理、ARDS、DICなど）
-
- 重症化のリスク
 - 高齢者
 - 基礎疾患

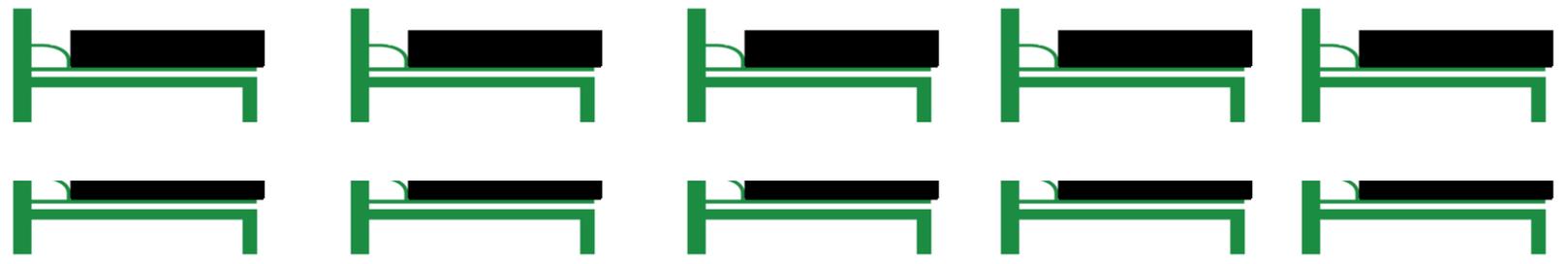
医療へのインパクト
医療の限界は早期に発生する

1

毎週5, 10, 15,,人が感染、診断は発病1週後 感染症病床10床の地域と仮定 第0日目



感染後約1週間
間は潜伏期



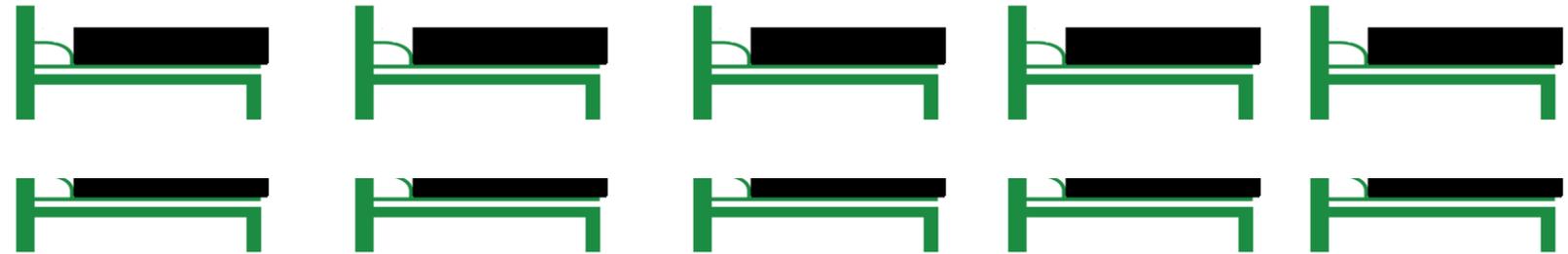
2

毎週5, 10, 15,,,人が感染、診断は発病1週後
感染症病床10と仮定 7日目(潜伏)



潜伏期

初期は軽症



3

回復

毎週5, 10, 15...人が感染、診断は発病1週後

感 診断の多くは発病後6-10日以後

仮定

第14日～(診断・発見)

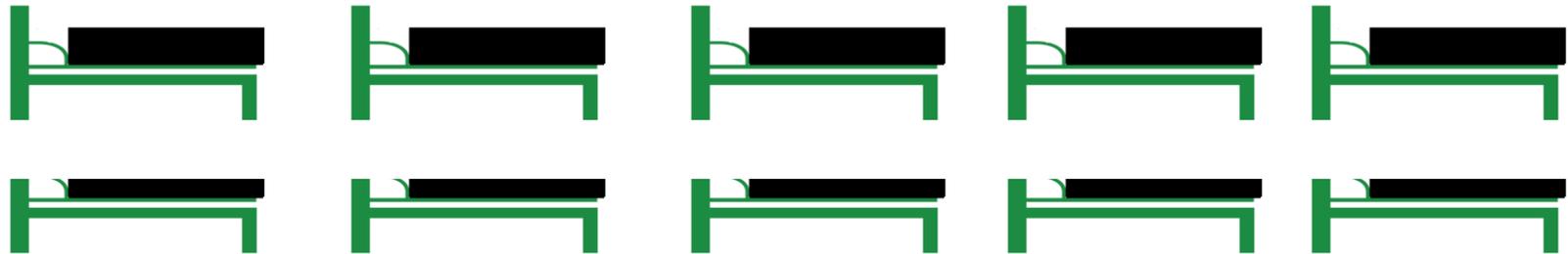


潜伏期

発生探知

発病

重症化



毎週5, 10, 15,,,人が感染、診断は発病1週後

第14日～(入院)蔓延防止策開始



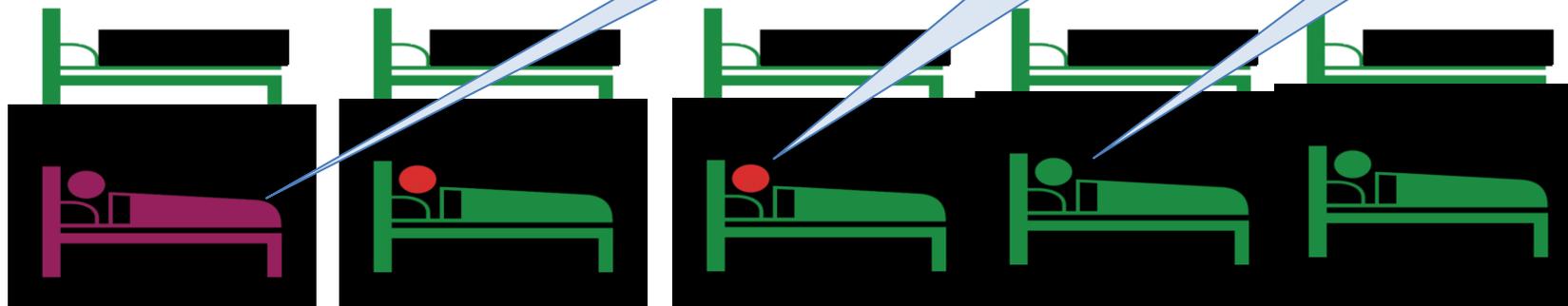
潜伏期

症状の有無、重症度を問わず
PCR陽性は入院

重症

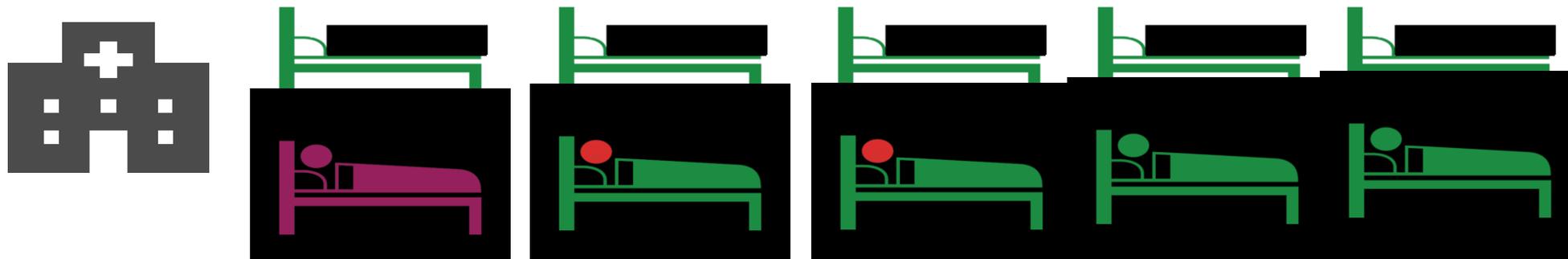
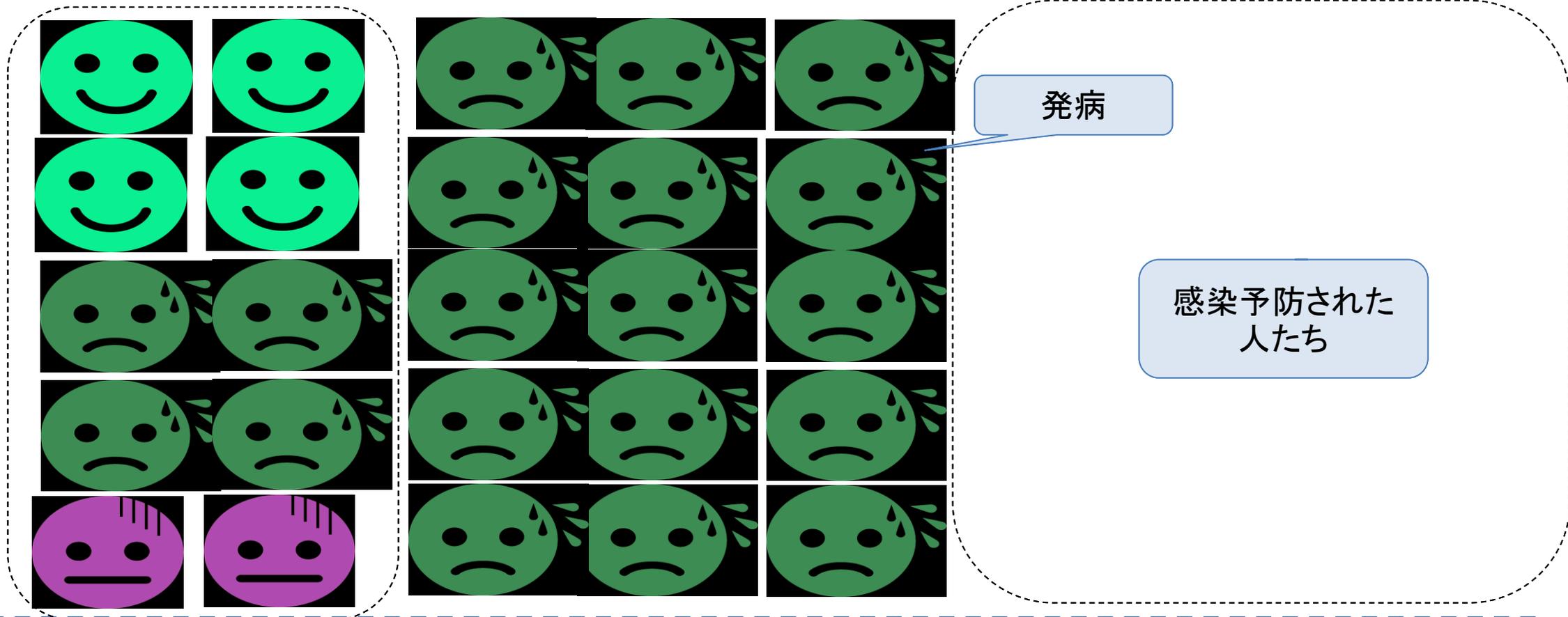
軽症
特別な治療は不要

無症状PCR陽性



入院0日目

毎週5, 10, 15,,人が感染、診断は発病1週後 第21日目(診断発見):拡大が止まった場合



毎週5, 10, 15,,,人が感染、診断は発病1週後
 第21日目(入院):拡大が止まった場合

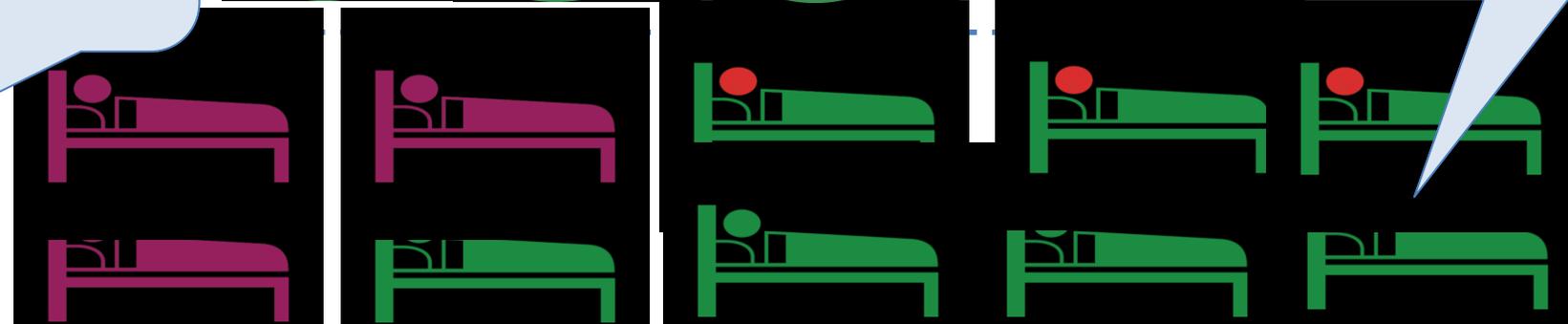


一般病床?
 他院?
 自宅?

症状の有無、重症度を問わずPCR陽性は入院が原則だが、重症、有症を優先的に入院せざるをえない

退院者がいなければ来週の重症者は入院できない

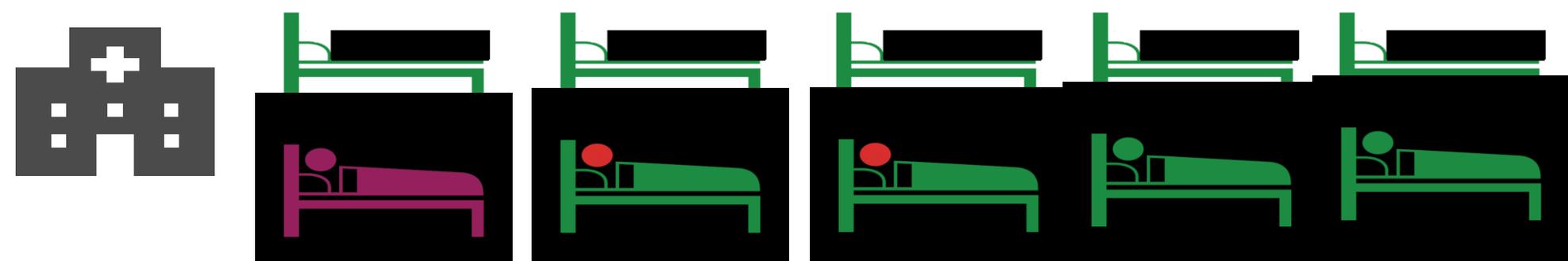
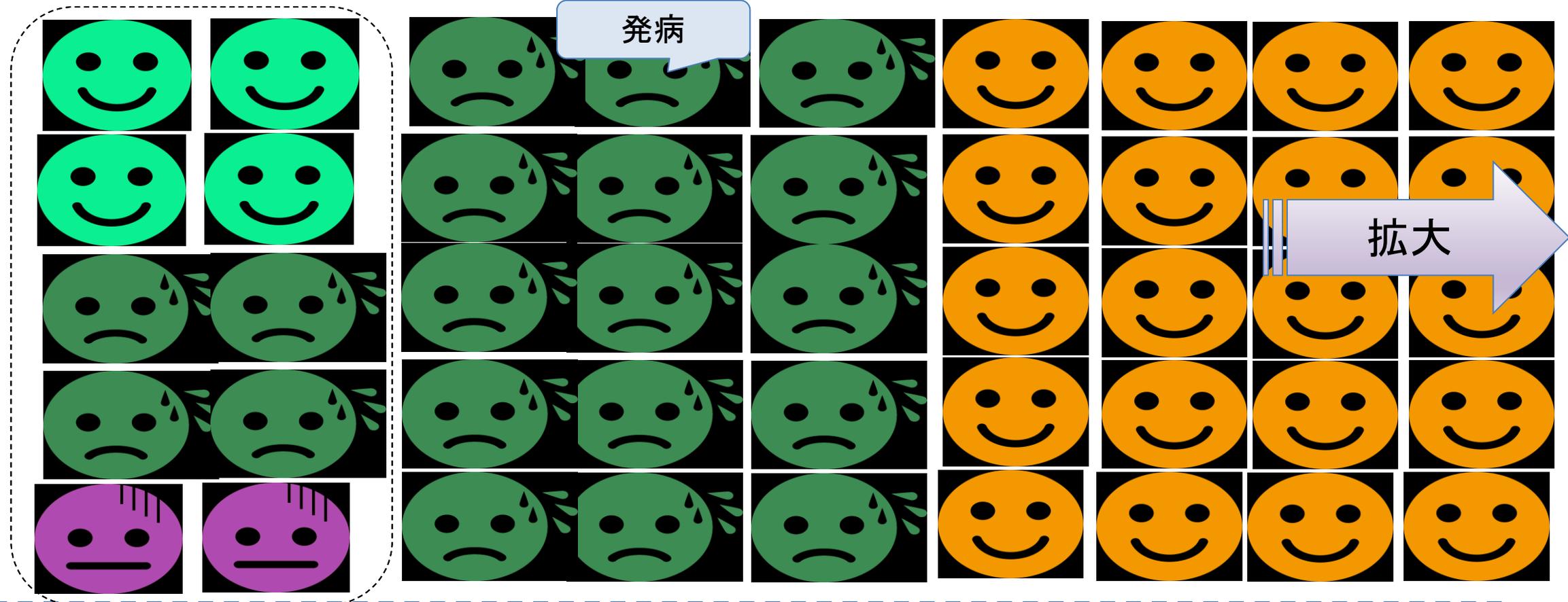
治癒後もPCR2回陰性まで退院不可



入院0日目

入院7日目

毎週5, 10, 15,,人が感染、診断は発病1週後 第21日目(診断発見): 拡大が止まらない場合



入院0日目

毎週5, 10, 15,,人が感染、診断は発病1週後 第21日目(入院): 拡大が止まらない場合



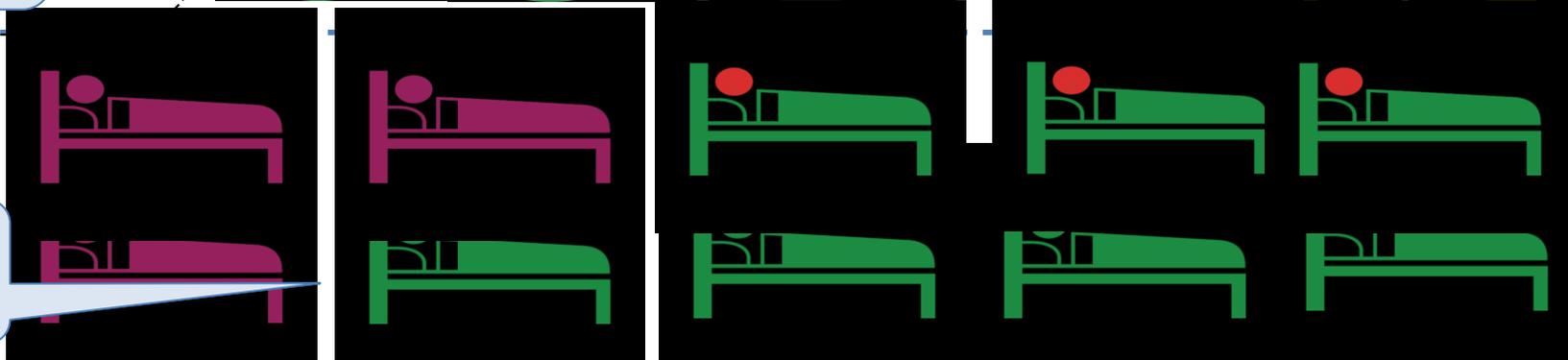
一般病床?
他院?
自宅?

退院者がいなければ来週
の重症者は入院できない

拡大



治癒後もPCR2回陰性まで
退院不可



入院0日目

入院7日目

感染性

初期の症例13例の接触者調査

- 3例から2次感染あり
- 濃厚接触者数合計 128人
- 被感染者数 4人

新No.	旧No.	確定日	年代	性別	居住地	周囲の患者の発生※	濃厚接触者の状況
1	1	1/15	30代	男	神奈川県	なし	38名特定 健康観察終了
2	2	1/24	40代	男	中国 (武漢市)	なし	32名特定 健康観察終了
3	3	1/25	30代	女	中国 (武漢市)	なし	7名特定 健康観察終了

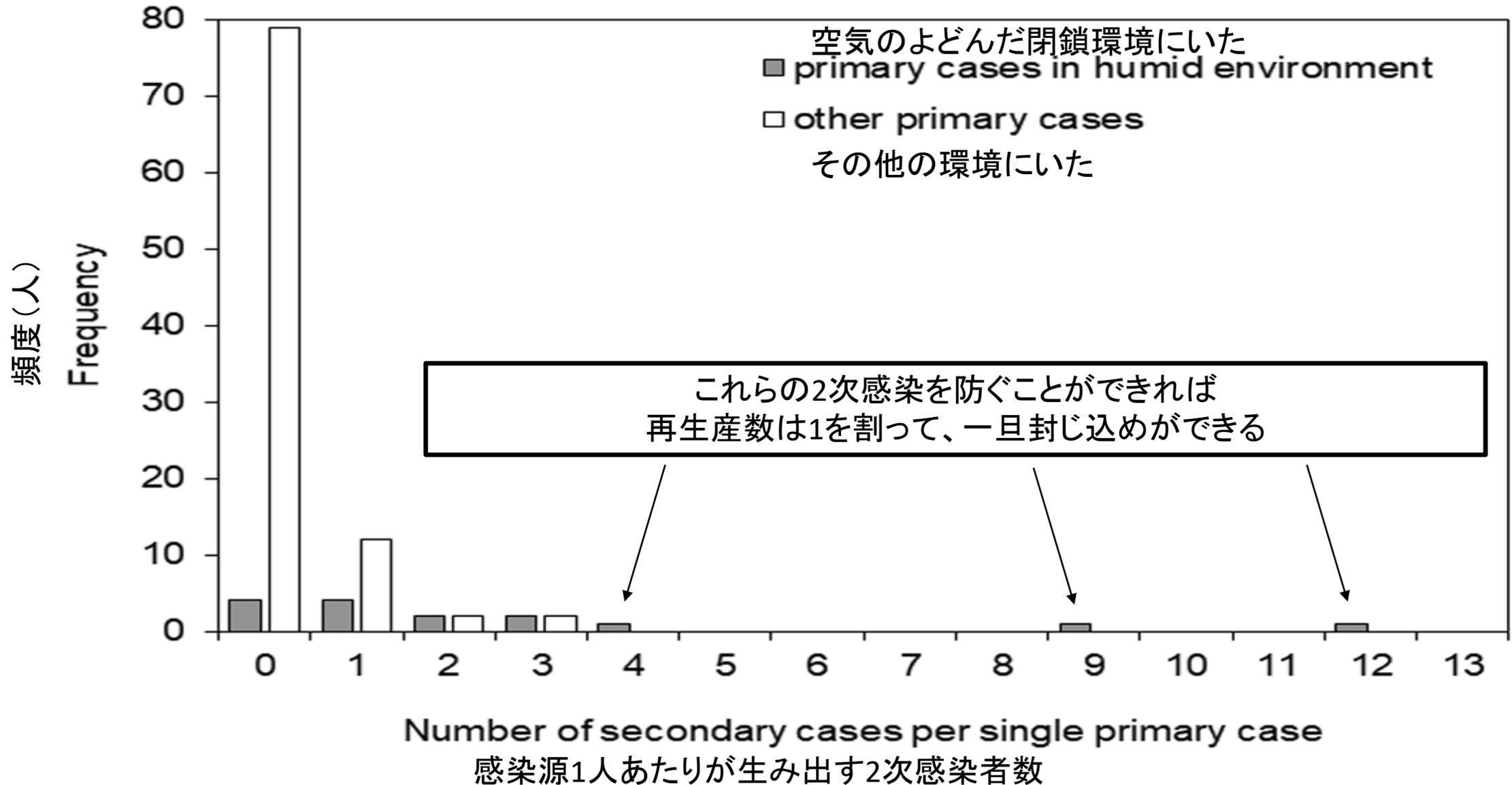
厚生労働省HP公表の症例別接触者調査結果一覧(現在は公表されていない)

症例の8割は誰にも感染させていない

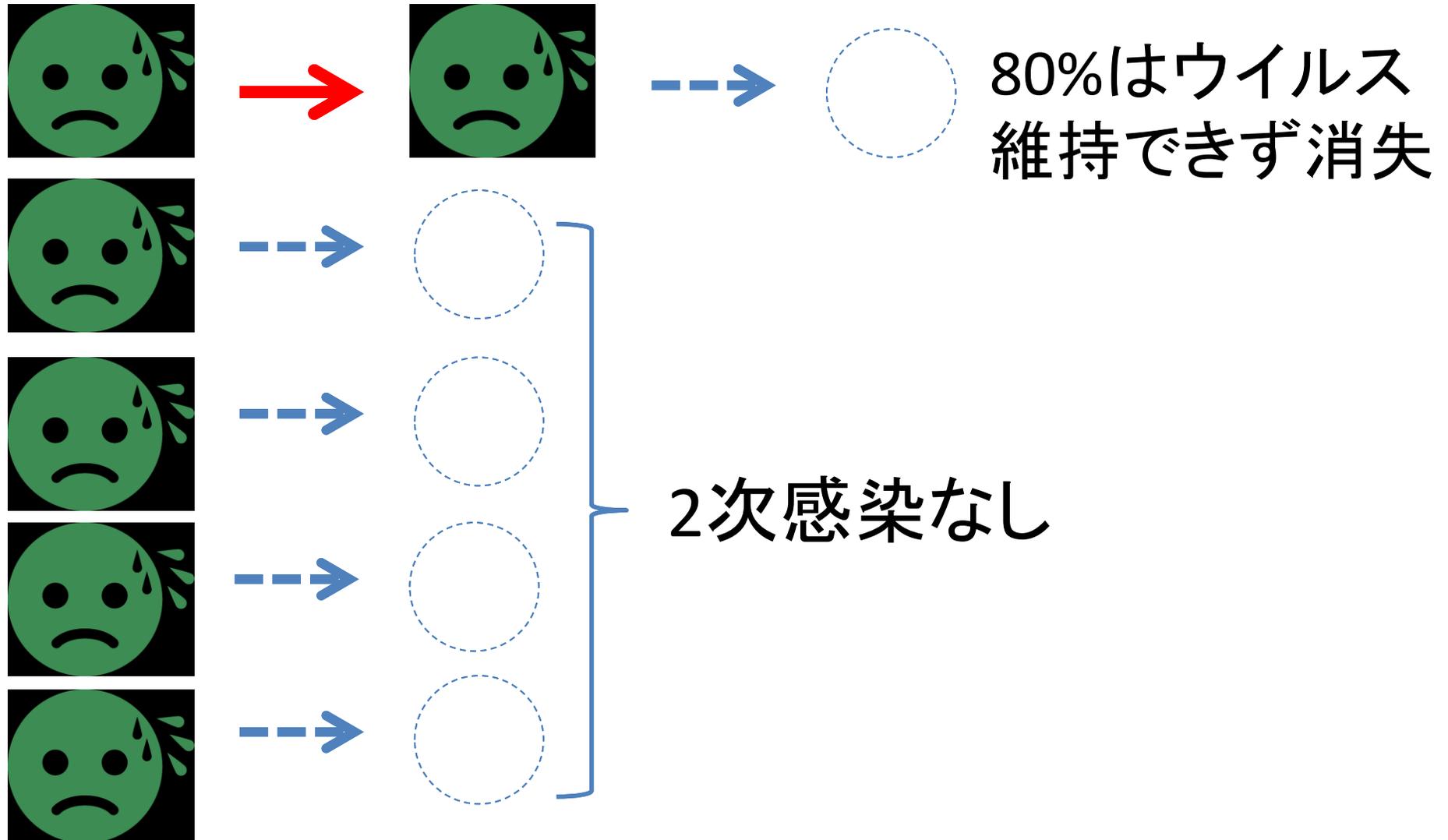
日常生活の中で(歩き回れる)軽症者が感染源となっている

クラスターを断ち切るための研究:「誰がどこで2次感染者を生み出しているのか」

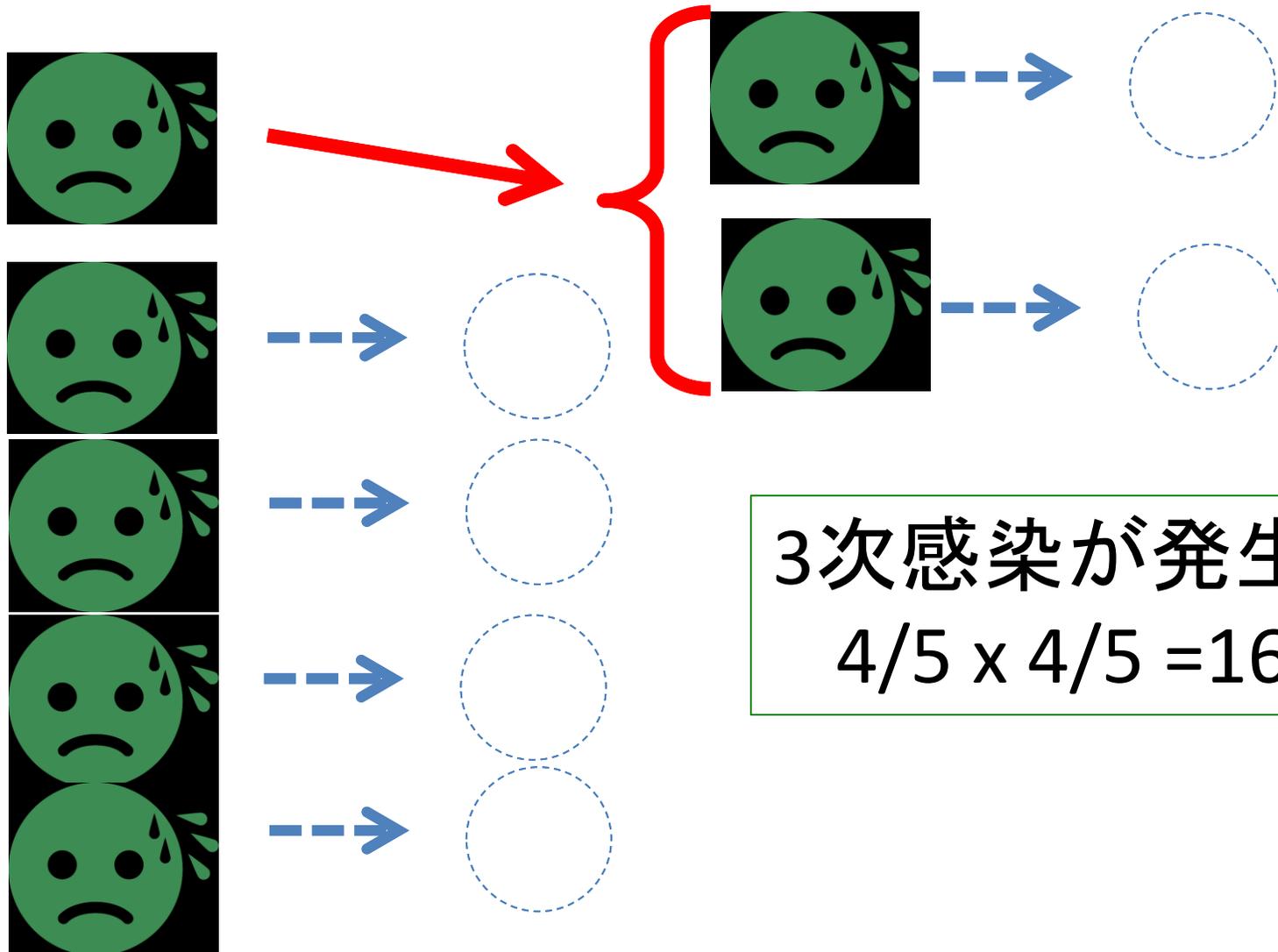
1人の感染者が生み出す2次感染者数の頻度 (n=110)



5人中4人は誰にも感染させていない(1/5ルール) 2次感染者数が1人だった場合

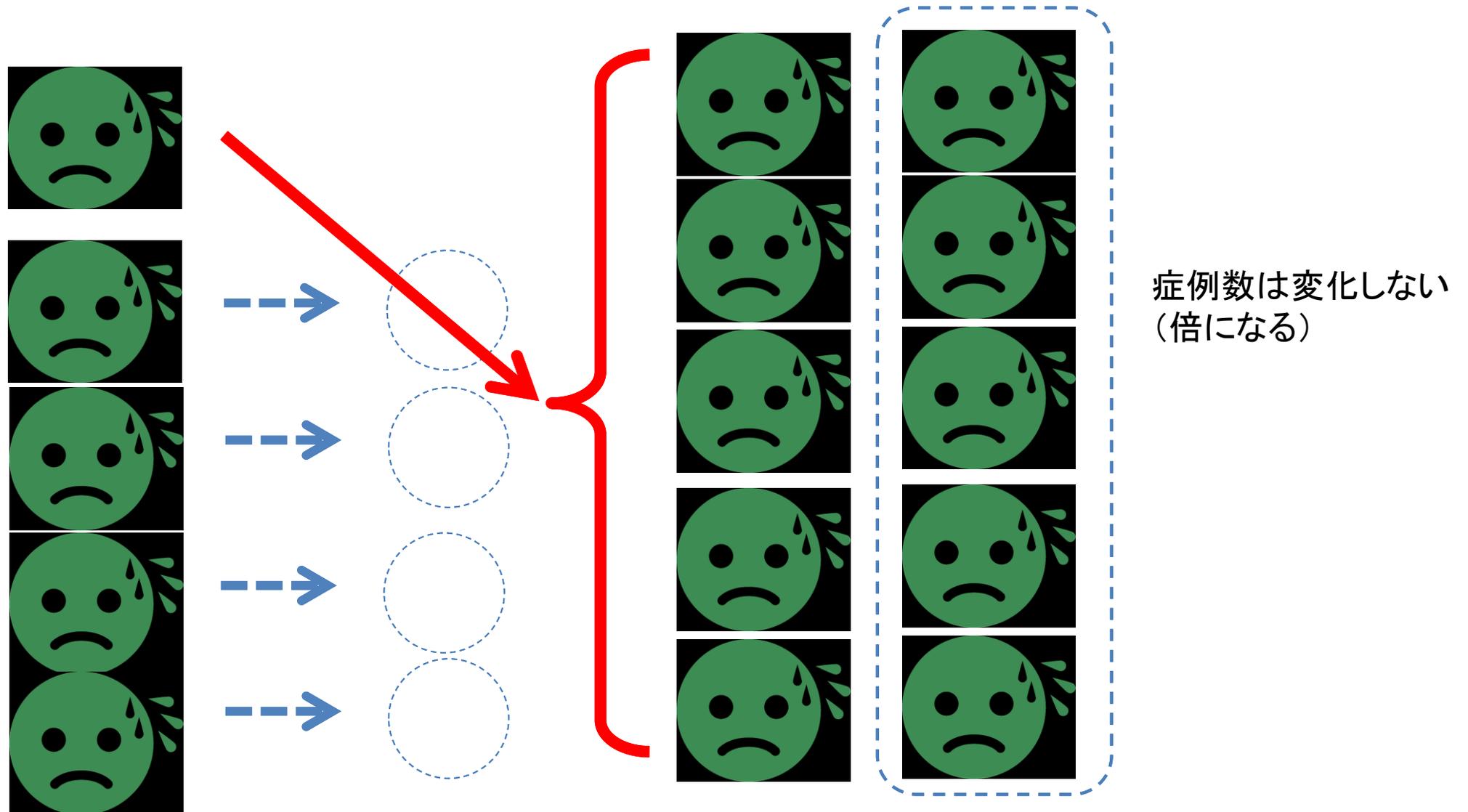


5人中4人は誰にも感染させていない(1/5ルール) 2次感染者数が2人だった場合



3次感染が発生しない確率
 $4/5 \times 4/5 = 16/25$ (64%)

5人中4人は誰にも感染させていない(1/5ルール) 2次感染者数が5人(10人)だった場合



蔓延防止 Social Distancing 「三密」の回避

①換気の悪い
密閉空間



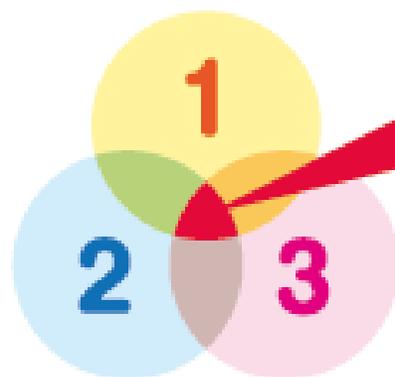
②多数が集まる
密集場所



③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



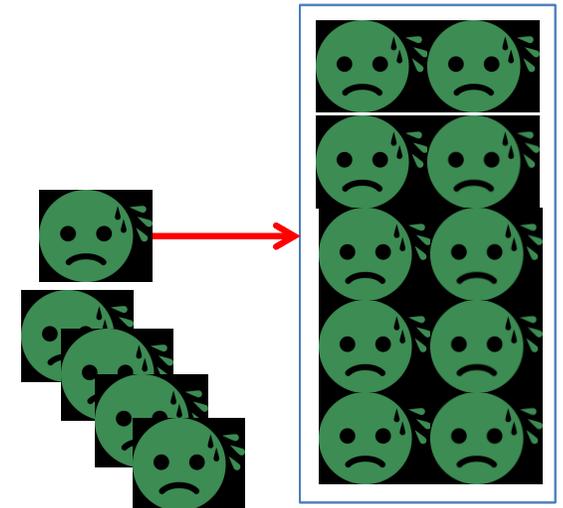
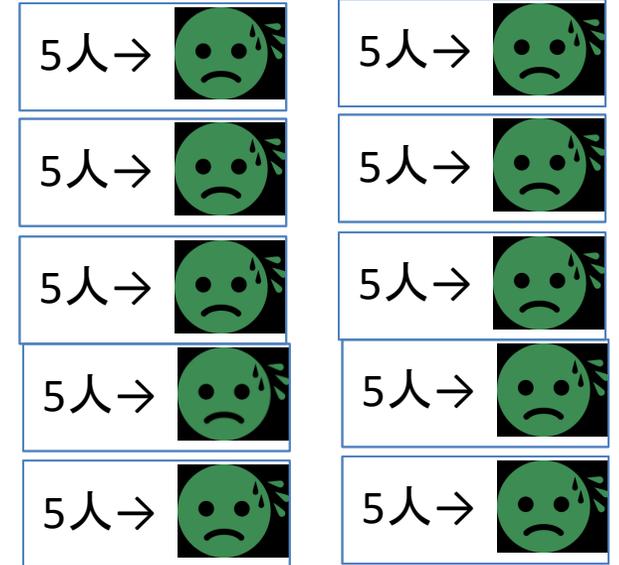
3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。



リンクなし散発例の発生と地域蔓延のリスク評価 「1/5ルール」から考える

- 10人の散発例（リンクなし）が発生した場合
 - 1世代前には、50人の未診断感染者がいる可能性
 - 地域蔓延の可能性大
 - 地域内の隠れクラスターの可能性
- 10人の「同一クラスター」の症例が発生した場合
 - 1世代前には、5人の未診断感染者がいる可能性
 - 地域蔓延の可能性小
 - 感染源はどこから来たのか？ 他地域のクラスター？



後ろ向きクラスターを特定する意義

- 地域流行のリスク評価
 - 散発(リンクなし)例 vs リンクあり症例
- 感染のリスクグループ(感染の高リスク人口集団)の特定
 - 濃厚接触者の行動抑制(外出自粛): ハイリスクアプローチ
- クラスターを形成するリスク行動、環境条件、リスク因子を特定
 - 3密(密閉、密集、密接)の発見→市民の行動変容につなげる
 - 屋形船、スポーツジム、カラオケ(歌)、麻雀、ライブハウス、宴会・飲み会・バー等
 - 医療機関

積極的疫学調査実施要領(暫定版)

用語の定義

- 患者（確定例）
 - 臨床的特徴等から新型コロナウイルス感染症が疑われ、かつ、検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者
- 疑似症患者
 - 臨床的特徴等から新型コロナウイルス感染症が疑われ、新型コロナウイルス感染症の疑似症と診断された者

濃厚接触者

- 「患者（確定例）」が発病した日以降に接触した者のうち、次の範囲に該当する者
 - 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
 - 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
 - その他：手で触れること又は対面で会話することが可能な距離（目安として2メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と接触があった者（患者の症状などから患者の感染性を総合的に判断する）。

接触者調査の意義

- 発端患者からの感染拡大防止
 - 接触者の行動制限による2次感染予防
 - 感染接触者からの次の感染を予防する

「患者クラスター（集団）」とは

- 連続的に集団発生を起こし（感染連鎖の継続）、大規模な集団発生（メガクラスター）につながりかねないと考えられる患者集団

積極的疫学調査の対象

- 「患者(確定例)」および「濃厚接触者」
 - 「疑似症患者」が確定例となる蓋然性が高い場合には、確定例となることを想定して積極的疫学調査の対象とし、疫学調査を開始することも許容される。
- 「無症状病原体保有者(臨床的特徴を呈していないが、検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者)」
 - 検体採取の時期や疫学的な情報に基づき、今後の発症の蓋然性ととも、接触者に対して感染伝播をさせた場合の影響の大きさを評価し、接触者調査の実施について個別に判断する。

解説

- (実際は、疫学調査の対象としている。検体採取日を起点として濃厚接触者をリストアップする)

地域の発生状況の把握

- 保健所は、「患者(確定例)」や「疑似症患者」の届出状況や帰国者・接触者相談センターへの相談情報を総合的に評価し、地域の発生状況を把握する。
 - 自治体におけるPCR検査の実施数や確定例の報告
 - 感染経路の特定できない報告例の発生状況
 - 帰国者・接触者相談センターと連携し、その相談件数と医療機関受診にいたった件数
 - 新型コロナウイルス感染症を疑われた件数の割合の推移などから地域における発生状況を推察できる可能性
- 全国の新型コロナウイルス感染症の発生状況にも注視

帰国者・接触者相談センターへ相談する者の目安 (2月17日現在)

1. 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く者(解熱剤を服用中の者も同様に扱う。)
2. 倦怠感や息苦しさがある者
3. 重症化リスクが高い者(高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている者)が1)、2)が2日程度続く場合

解説

→ ただし、COVID-19が悪化する場合、呼吸苦が出現して急速に呼吸不全になるため、息苦しさが出現したら待たない

調査内容

- 基本情報・臨床情報・推定感染源・接触者等
 - 「患者(確定例)」が複数発生している場合には、共通曝露源について探索を行い、感染のリスク因子を特定した上で、適切な感染拡大防止策(共通曝露をうけたと推定される者への注意喚起を含む)を実施

クラスター検出

- リンクが明らかでない感染者の周辺にクラスターを疑う
- 特に地域で複数の感染例が見つかった場合に、共通曝露源を後ろ向きに徹底して探していくことが重要
- 地域の、ひいては日本全体の感染拡大の収束に直結

積極的症例探索

- 「患者(確定例)」の行動調査の情報をもとに対象者を絞込む
- 2次感染の可能性が高い場所: 丁寧な情報収集が必要
 - 3つの密: 船内、スポーツジム、ライブハウス、宴会・集会など
 - 従来の医療機関、福祉施設、職場、学校等
- 関係者の負担を考慮し、範囲を過剰に拡大しない
- 確定例と接触期間が長い同居家族等については、一般的な健康観察や行動自粛の要請等に留め、リソースを潜在的な患者クラスター(集団)の一部らしい患者や集団の検出に向けることを検討
- 国立感染症研究所、厚労省クラスター対策班の専門家が協力・助言を行うことが可能

調査時の感染予防策

- 対面調査を行う際は、サージカルマスクの着用と適切な手洗いを行う
- 咳などの症状がある調査対象者に対面調査を行う際は、患者にサージカルマスクを着用させ、対応人員はサージカルマスクの着用と適切な手洗いに加え、眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）を装着

濃厚接触者対応

- 最終曝露から14日間、健康状態に注意を払い、発熱や呼吸器症状、倦怠感等が現れた場合、医療機関受診前に、保健所へ連絡するように依頼
- 発熱または呼吸器症状が現れた場合、検査対象者とする
 - 体温が37.5度以上あるかにこだわらず、検査は、医師の判断を優先
- 原則、健康観察期間中の無症状の濃厚接触者は、新型コロナウイルスの検査対象とはならない
 - 自宅待機などの周囲への感染伝播のリスクを低減させる対策をとった上で、健康観察を行う。
 - 検査陰性で感染を否定できない
- 重症化リスクが高い者の体調の変化には十分注意

濃厚接触者への対応2

- 健康観察期間中、咳エチケットと手洗いを徹底する
- 常に健康状態に注意を払う
- 不要不急の外出はできる限り控える
 - やむをえず移動する際にも、公共交通機関の利用は避ける
- 無症状でも、以下の場合には検査対象
 - 濃厚接触者が医療従事者等、ハイリスクの者に接する機会のある業務に従事し、検査が必要と考えられる場合 or
 - クラスターが継続的に発生し、疫学調査が必要と判断された場合

濃厚接触者の対応3

- 「濃厚接触者」と同居している者は、マスクの着用および手指衛生を遵守する
- 家庭内で注意すること(8つのポイント)
 - 部屋を分ける(個室)、世話をする人を限定、マスク着用、まめな手指衛生、定期的な換気、共有部分を消毒、リネン・衣服の洗濯(通常通り)、ゴミは密閉して廃棄

新型コロナウイルス感染症(疑似症患者を含む) 基本情報・臨床情報調査票

基本情報※

1 調査担当保健所名:		調査者氏名:	
調査日時: 年 月 日 時		調査方法: <input type="checkbox"/> 面接 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他()	
2 調査回答者: <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 本人以外→氏名() 本人との関係()			
調査回答者連絡先: 自宅電話: - -		携帯電話: - -	
3 診断分類: 新型コロナウイルス感染症(患者(確定例)・無症状病原体保有者・疑似症患者)			
4 NESID登録ID:	5 患者居住地保健所:		
6 届出医療機関名:	7 届出医療機関主治医名:		
8 届出医療機関所在地:	9 届出医療機関電話番号: - -		
10 届出受理日時: 年 月 日	11 届出受理自治体:		
12 届出受理保健所:	13 届出受理担当者:		
14 初診年月日: 年 月 日	15 診断年月日: 年 月 日		
16 感染推定日: 年 月 日	17 発病年月日: 年 月 日		

※3~17は発生届出票等より転記(4はNESIDへの登録後に記入)

18 患者氏名:	19 性別: 男・女	20 生年月日: 年 月 日(歳 ヶ月)
21 国籍:	22 患者住所:	
23 患者電話番号: 自宅 - -	携帯 - -	
患者Email: @		
24 調査時点の患者の主たる所在: <input type="checkbox"/> 医療機関 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先・学校 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 不明		
連絡先住所: 電話番号: - -		
25 職業・業種・学校(幼稚園・保育園等を含む)等: 最終勤務・出席(勤)日(年 月 日)(児童・生徒の場合、所属クラス・クラブ等詳細に記入すること)		
勤務先/学校名: 勤務先/学校所在地: 勤務先/学校電話番号: - -		
26 本人以外(保護者等)の連絡先 氏名: 本人との関係: 住所: 電話番号 自宅: - -	携帯: - -	
妊娠	無・有	(妊娠 週)
喫煙	無・有	(歳から 本/日)
糖尿病	無・有	
呼吸器疾患(喘息・COPD・その他)	無・有	(具体的に)
腎疾患	無・有	(ありの場合、透析 あり・なし)
肝疾患	無・有	(具体的に)
心疾患	無・有	(具体的に)
神経筋疾患	無・有	(具体的に)
血液疾患(貧血等)	無・有	(具体的に)
免疫不全(HIV、免疫抑制剤使用含む)	無・有	(具体的に)
悪性腫瘍(がん)	無・有	(具体的に)
その他()		

臨床経過等

ID

28	症状	※必要に応じ、症状の有無、体温、時刻等の情報も記入							
		月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
呼吸器症状	症状など								
	最高体温(°C)								
	咳嗽	無・有							
	呼吸困難	無・有							
	鼻汁・鼻閉	無・有							
	咽頭痛	無・有							
	嘔気・嘔吐	無・有							
	結膜充血	無・有							
	頭痛	無・有							
	全身倦怠感	無・有							
	関節筋肉痛	無・有							
	下痢	無・有							
	意識障害	無・有							
	けいれん	無・有							
その他()	無・有								
29	症状など								
	最高体温(°C)								
	咳嗽	無・有							
	呼吸困難	無・有							
	鼻汁・鼻閉	無・有							
	咽頭痛	無・有							
	嘔気・嘔吐	無・有							
	結膜充血	無・有							
	頭痛	無・有							
	全身倦怠感	無・有							
	関節筋肉痛	無・有							
	下痢	無・有							
	意識障害	無・有							
	けいれん	無・有							
その他()	無・有								
30	発病年月日時間(聞き取り調査による)	年 月 日	午前・午後	時	分	頃			
30	探知の契機: <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症届出症例 (類型:患者(確定例)、無症状病原体保有者、疑似症例、その他) <input type="checkbox"/> 健康観察対象者(確定例ID: 氏名:) <input type="checkbox"/> その他()								
31	診断前の臨床経過・治療内容・その他特記事項等:								

32	入院：□無 □有（有の場合 入院期間 月 日～月 日） 入院医療機関名： 診療科名： 主治医名： 疑似症定点医療機関 該当 ・ 非該当 入院医療機関所在地： 連絡先：																
33	胸部X線 無 ・ 有（所見 ）																
34	胸部CT 無 ・ 有（所見 ）																
35	人工呼吸器使用の有無 無 ・ 有																
36	患者受診後の医療行為：																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>医療機関名</th> <th>医療行為</th> <th>備考(検査・医療行為等の結果、等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>/</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	月日	医療機関名	医療行為	備考(検査・医療行為等の結果、等)	/				/				/			
	月日	医療機関名	医療行為	備考(検査・医療行為等の結果、等)													
	/																
/																	
/																	
37	転帰 退院（退院日 年 月 日） 死亡（死亡日 年 月 日）																
38	その他の経過																

検査結果

39	新型コロナウイルスの検査					
	検体材料	検体採取日	結果	検査方法	検査施設	
			陰性・陽性・その他（ ）			
			陰性・陽性・その他（ ）			
			陰性・陽性・その他（ ）			
			陰性・陽性・その他（ ）			
40	新型コロナウイルス以外の検査					
	病原体	検体材料	検体採取日	結果	検査方法	検査施設
	●培養検査 無 ・ 有 ・ 不明					
	ありの場合			陰性・陽性（菌名： ）		
				陰性・陽性（菌名： ）		
				陰性・陽性（菌名： ）		
				陰性・陽性（菌名： ）		
	●抗原検査 無 ・ 有 ・ 不明					
	インフルエンザウイルス			陰性・陽性		
	RSウイルス			陰性・陽性		
	アデノウイルス			陰性・陽性		
	肺炎球菌			陰性・陽性		
	レジオネラ			陰性・陽性		
	●その他検査法					
病原体名（ ）			陰性・陽性・その他（ ）			
病原体名（ ）			陰性・陽性・その他（ ）			
病原体名（ ）			陰性・陽性・その他（ ）			

自由記載欄

新型コロナウイルス感染症患者行動調査票(感染源)[※] (添付2-1) 患者氏名:

NESID登録ID: _____

☆(共通)曝露源を後ろ向きに探索する作業は発症前の2週間を目安とし患者の行動について記載する。職場、学校、医療機関、福祉施設等の人が集まる場所、密閉されかつ不特定多数の人が一定時間接触がある空間などの感染リスクが高い場所に関する行動歴を中心に、症状がある人等との接触歴(対面で会話した等)とあわせて聞き取りする。発症前1日目を以降の行動歴については行動(発症前日から)調査票(添付3-1)を使用すること。
*感染リスクが高い場所の例として: 船、長距離バス、スポーツジム、屋内音楽ライブ、クラブ、立食パーティー、カラオケボックス、屋内展示会等の換気が悪く密閉された環境での集会参加、流行地への滞在歴(国内・国外)が挙げられる。

発症日より	日付	時刻	場所	行動歴/接触歴	状況 (活動内容、他者との接触状況、イベント規模、体調不良者の有無等)	感染リスクの高い場所の同行者氏名	備考
記載例	6/Y	9時~12時 13時30分~17時頃	①〇〇駅近くのXXライブハウス TEL: 000-000-0000 ②△△県△△市 ③□□県◇◇町	①所属する営業2課の同僚とライブへ参加 ②〇×観光バスで移動 TEL: 999-999-9999 ③△△駅前で風症状のある友人(〇〇氏)と接触	①顧客約300人、スタンディングで密集。 ②家族(妻、子供2人)を含めバスには20人程度で、乗客に体調不良者あり。 ③マスクの着用なしで30分ほど立ち話をした	①〇×部長、△□主任 ②〇〇太郎、□□花子、△△次郎	
発症14日前	/						

遡り調査
 感染源
 クラスタ探し
 有症状者・症例との接触
 イベント・3密への曝露
 旅行歴
 旅行者との接触

※既に健康観察実施されていた患者の場合には行動(感染源)調査票(添付2-1)は必ずしも記載の必要はない。

新型コロナウイルス感染症患者行動調査票(接触者) (添付3-1) 患者氏名:

NESID登録ID: _____

☆発症後の行動調査は、濃厚接触者を特定し、感染拡大を予防するために行う。原則として、診断されて症例として対応される直前までの行動について記載する。また、患者と同室であったり会話した者のうち、連絡や問い合わせが可能である者を優先的に記述する。

発症日より	日付	時刻	同居者以外の者との接触状況	接触場所	接触者氏名※	接触者の連絡先	備考
記載例	6/Y	9時~12時 13時30分~15時頃	①職場に出勤し、所属する営業2課の同僚と接触 ②取引先に移動し、応対した社員や商談した社員等と接触	①〇〇物産株式会社 TEL: 000-000-0000 ②〇×貿易株式会社 TEL: 999-999-9999	①〇〇太郎、□□花子、△△次郎 ②〇×部長、△□主任	①は全て〇〇物産株式会社 ②は全て〇×貿易株式会社	
発症1日前	/						
発症日	/						
発症1日後	/						
発症2日後	/						
発症3日後							
発症4日後							
発症5日後							
発症6日後	/						
発症7日後	/						
発症()日後	/						
発症()日後	/						
発症()日後	/						
発症()日後	/						
発症()日後	/						

前向き調査
 濃厚接触者リストづくり

※接触者数が多数となる場合は、裏面の自由記載欄も活用して記載すること。

接触者調査

新型コロナウイルス感染症患者の接触者リスト

(添付3-2)

患者氏名: _____

調査者氏名: _____

患者ID: _____

接触者リスト (別途健康観察票 添付3-3により健康観察を行う)

接触者 番号	よみがな 氏名	続柄 (関係)	年齢	性別	患者との 最終接触日	基礎 疾患※1	観察期間内 の発症※2	連絡先 (電話番号、 メールアドレス等)	備考 (接触状況等)
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		
					年 月 日	無/有	無/有		

※1: 疾患は患者臨床症状調査票 (添付1) の基礎疾患参照 (「有」の際は備考欄に詳細記入)、※2: 観察期間は患者との最終接触日から14日後までとし、「有」の際は患者として患者臨床症状調査票 (添付1) により調査を行う。

新型コロナウイルス感染症患者の接触者における健康観察票(1枚目)

これは、管轄保健所が主体となって行う調査票です。観察対象者に対しては注意深く健康チェックを実施してもらい、もし気になる症状が現れたときには、必ず速やかに保健所へ連絡するよう伝えて下さい。健康観察は、患者との最終接触日から14日目で終了してください。

接触者番号: 観察対象者氏名: 住所: TEL: - - Email: @

患者氏名: 患者との最終接触日時: 年 月 日 時頃 患者との関係:

	観察開始日	開始後1日目	開始後2日目	開始後3日目	開始後4日目	開始後5日目	開始後6日目	開始後7日目	開始後8日目	開始後9日目	開始後10日目
--	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

日付	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

最高体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

呼吸器 症状	咳嗽	無・有										
-----------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

呼吸器 症状	呼吸困難	無・有										
-----------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

呼吸器 症状	鼻汁・鼻閉	無・有										
-----------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

呼吸器 症状	咽頭痛	無・有										
-----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	嘔気・嘔吐	無・有										
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	結膜充血	無・有										
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	頭痛	無・有										
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	全身倦怠感	無・有										
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	関節筋肉痛	無・有										
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	下痢	無・有										
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	意識障害	無・有										
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	けいれん	無・有										
-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

その他	その他											
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

朝・夕の確認☑(確認手段(電話・面接等)を記載)	朝:□()											
--------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

朝・夕の確認☑(確認手段(電話・面接等)を記載)	夕:□()											
--------------------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

備考												
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認者												
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

保健所名:		担当者:		所在地:		TEL:	-	-	FAX:	-	-
-------	--	------	--	------	--	------	---	---	------	---	---

						Email			@		
--	--	--	--	--	--	-------	--	--	---	--	--

接触者調査健康観察記録

14日目まで

COVID-19蔓延防止策

患者の重症度

重症

院内感染予防策(IPC)が機能

蔓延防止策

- ・IPC維持
- ・医療の過重負荷防止

院内感染

対策

- ・IPC強化
- ・症例数増加の時は重症度トリアージ

自然に感染伝播は途絶(多くの自然経過)

蔓延防止策

- ・市民のリスク行動回避(行動変容)
- ・感染者の行動制限(入院、医療体制整備、蔓延時は自宅?)

市中: 流行の主体

・クラスター

リスク

- ・3つの密(密閉、密集、密接)
- ・家族・共同生活など

蔓延防止策

- ・市民の行動変容
- ・クラスター封込め
- ・(ロックダウン?)

院内感染(中小医療機関)

- ・外来、一般病床のIPC強化

小(0~1)

大(多)

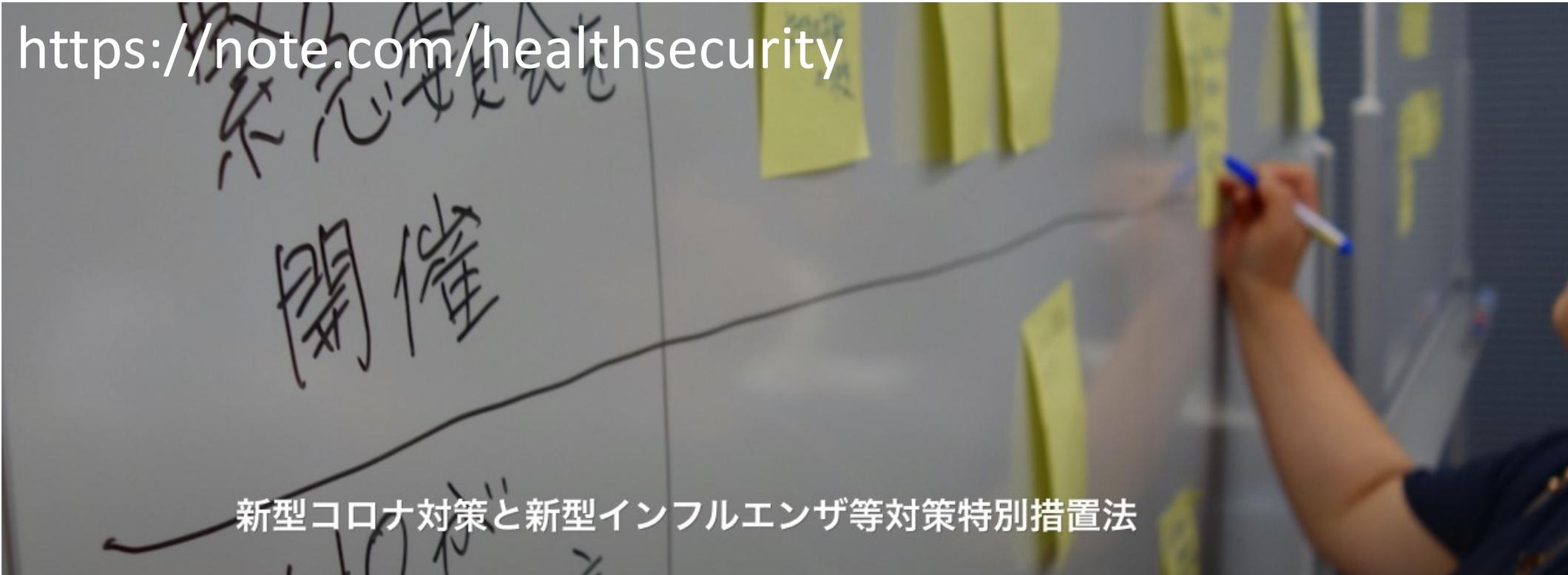
流行へ与える影響(二次感染者数)

COVID-19蔓延防止と疫学調査

- 接触者の特定による囲い込み
 - 症例の行動調査
 - 接触者調査
- クラスターの特定とリスク分析と行動変容
 - クラスターの特定(さかのぼり調査)
 - クラスターの特徴分析
- 院内感染対策
 - 院内の感染予防策の評価
 - 院内感染調査
- 輸入防止
 - 検疫(入国後の行動制限と健康監視)、入国制限

特措法改正に関する解説記事のお知らせ

<https://note.com/healthsecurity>



新型コロナウイルス対策と新型インフルエンザ等対策特別措置法

- 新型コロナウイルス感染症に関する政令改正の概要
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法と新型コロナウイルス感染症
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法とは
- 新型インフルエンザ等対策(新型コロナウイルス対策)の基本3点セット
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法の概要

国立保健医療科学院 齋藤智也健康危機管理研究部長